



NOZAWA news

やすらぎと安心の創造

株式会社ノザワ
<http://www.nozawa-kobe.co.jp>

Vol. **32**
2014 - Autumn
平成26年 秋号

製糸の都岡谷に建つエコバンク

アスロック 施工レポート

「八十二銀行岡谷支店」

八十二銀行岡谷支店は、かつて製糸業で繁栄した岡谷市に建つ銀行店舗です。

「エコバンク」であることを表現するためにアスロックソーラーウォールを用い、絹糸による織物を表現するために3種類のリブパネルとフラットパネルを使用しました。

- 所在地：八十二銀行岡谷支店
- 施主：長野県岡谷市
- 設計：三菱地所設計
- 施工：清水建設・興和工業・岡谷組・山岸建設JV
- 外壁：「アスロックソーラーウォール」(60+25)mm厚、カラーセラン仕上げ
185W / パネル × 10 パネル = 1.85kW
「プライムライン」(60+15)mm厚、
「ストライプライン」(60+15)mm厚、
「タスロック」(60+15)mm厚、
「アスロック」60mm厚、
現場塗装仕上げ



建築業界の要求に的確に対応し、改良

アスロックの工法は、1970年の発売当初から層間変位追従機能を持つ留付金物「Zクリップ」を採用し、多くの大地震に耐えてきました。一方で、目地部分の防水はシーリング材に頼っており、維持管理不足から目地部分での漏水が発生することもありました。このような場合でも部屋内側に雨水が侵入しないよう、1999年に「セフティシール工法」を開発して2次防水工法の標準化に努めてきました。

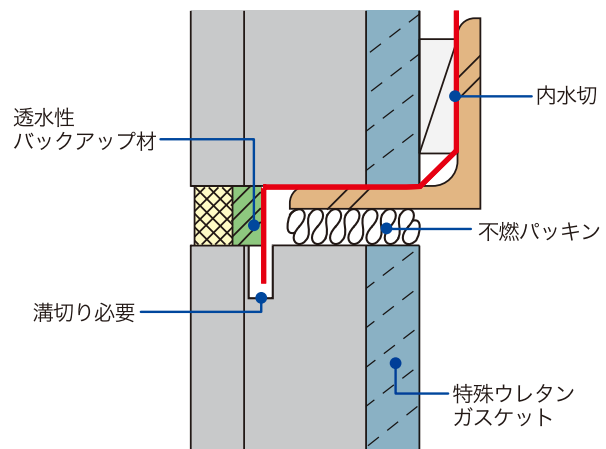
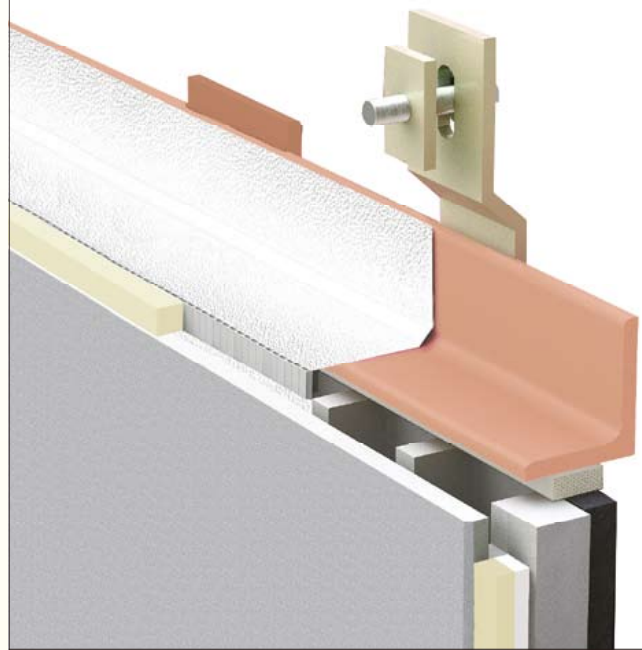
2011年に発売を開始した「ニューセフティ工法」は、ガスケット材および水切り材を材質から見直すことで、水密性能アップとローコストを実現し、発売以来高い評価をいただけてきました。さらに、近年新たに施工員不足対策や現場環境改善が求められるようになったことから、「LS工法」と「ニューセフティ縦張り nonsリット工法」の発売を本年開始しました。

「LS工法」は、施工の簡略化(下地削減、工場プレ加工など)を実現したことから、経験が浅い施工員が加わっても施工が可能で、また現場での加工が少ないことから粉塵を減少させることができます。31m以下の建物にはお勧めの工法です。

「ニューセフティ縦張り nonsリット工法」は、現場でのスリット加工が無いことから、水密性能を確保したまま粉塵を減少させることができます。

今後、現場省力化はますます進むと思われ、現場での加工から工場でのプレ加工に移行していくと思われます。このような流れに対応すべく、新たな工法を開発するとともに、工場プレ加工の能力を高めていきます。

ニューセフティ縦張り標準工法

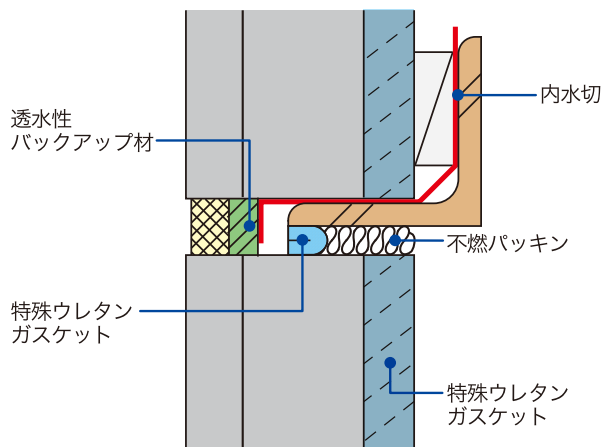
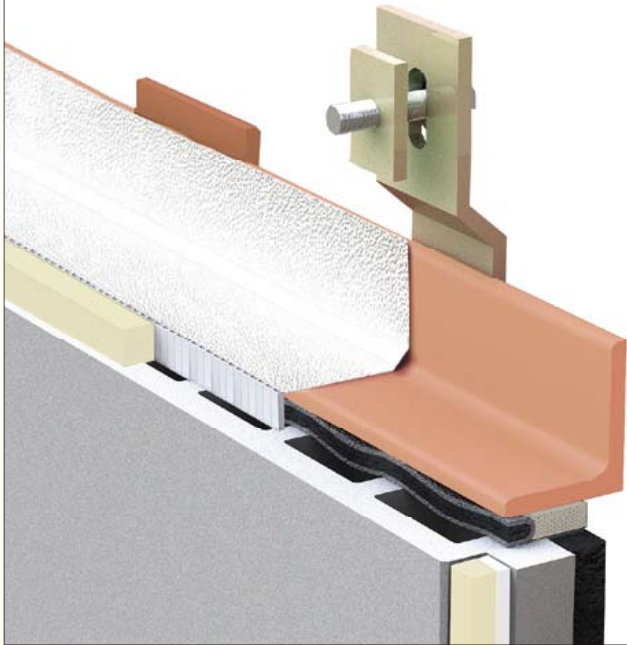


工法概要	内水切の先端をアスロック小ロスリットに差し込む従来工法です。施工実績が豊富で、『建築工事監理指針』でも、二次的漏水対策として紹介されています。
適用建物高さ	原則45m以下(外足場が建つ高さまで)。 ※「無足場工法」採用により60m程度まで可能。
足場の必要性	外足場必要・内足場必要。 ※条件により「無足場工法」可能。
耐震性能	ロッキング方式(支持点:パネル両端部)。 [1/300]健全で再使用可能(理論値・試験値)。 [1/100]破損・脱落無し(理論値・試験値)。
水密性能	平均2250Pa(最大3000Pa)漏水無し(実験値)。
工場プレ加工	縦ガスケット工場張り可能。
作業環境	縦ガスケット工場張りで、剥離紙ゴミを軽減する。



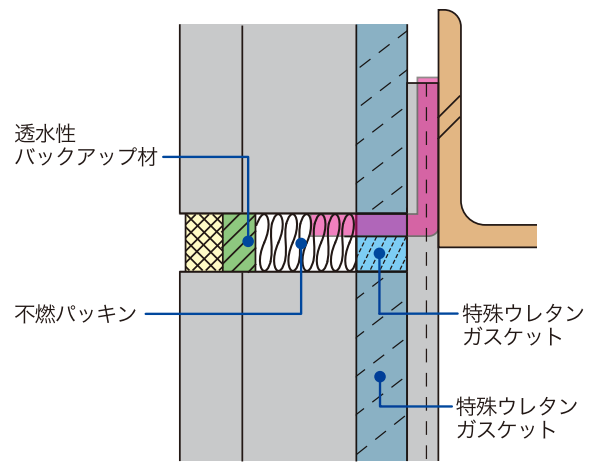
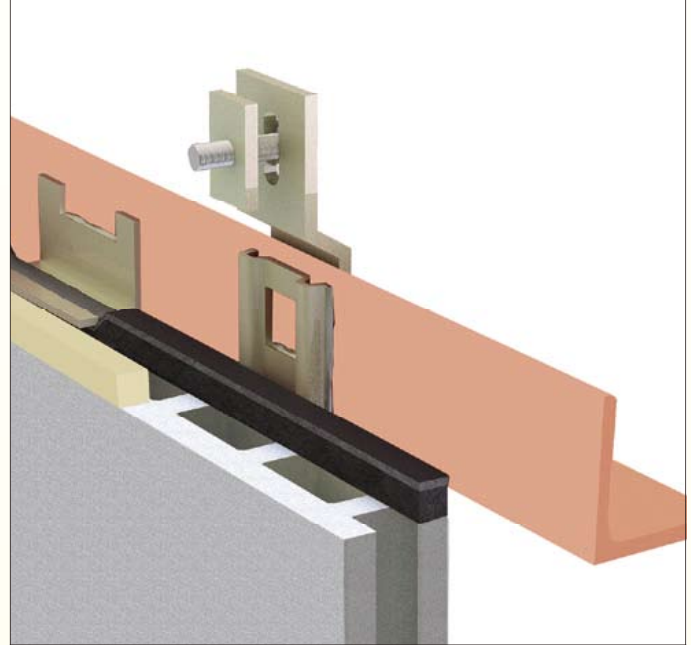
を続けるアスロック専用工法

ニューセフティ縦張りノンスリット工法

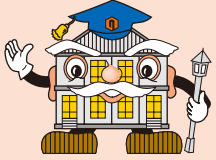


工法概要	内水切用のアスロック小口スリットが不要な工法です。アスロックと下地アングルの間に特殊ウレタンガスケットを挿入することで、標準工法同様の止水効果があります。
適用建物高さ	原則45m以下(外足場が建つ高さまで)。
足場の必要性	外足場必要・内足場必要。
耐震性能	ロッキング方式(支持点:パネル両端部)。
	[1/300]健全で再使用可能(理論値)。 [1/100]※試験実施予定。
水密性能	平均2250Pa(最大3000Pa)漏水無し(実験値)。
工場プレ加工	縦ガスケット工場張り可能。
作業環境	スリット加工による粉塵が発生しない。 縦ガスケット工場張りで、剥離紙ゴミを軽減する。

LS(レイバーセイビング)工法



工法概要	現場作業の効率化と現場環境を改善した工法です。層間部の下地アングル1本化と、工場プレ加工を実現しています。
適用建物高さ	原則31m以下。
足場の必要性	外足場必要・内足場不要。
耐震性能	ロッキング方式(支持点:パネル中央部)。
	[1/300]健全で再使用可能(理論値・試験値)。 [1/100]破損・脱落無し(理論値・試験値)。
水密性能	平均2000Pa(最大2750Pa)漏水無し(実験値)。
工場プレ加工	縦ガスケット工場張り可能。 留め付け金物用工場孔開け可能(※定位置のみ)。
作業環境	スリット加工による粉塵が発生しない。 孔開けによる粉塵を軽減する。 縦ガスケット工場張りで、剥離紙ゴミを軽減する。



異人館博士の Q&A

- Q36.** 既存建築物の石綿有無診断にあたり、スレート類の刻印をどのように読み診断すれば良いですか。
- A36.** 当社のスレートには、社名、製造工場、製品名と厚み、JISマーク、不燃マーク、製造年月日を刻印しています。また、1989年(平成元年)以降の石綿含有品にはaマークも刻印しています。以下の写真を参考に、右側から刻印の意味をご紹介します。



- ①「ノザワ」は社名で、この隣のアルファベットは、「製造工場」を示します。「H」は北海道工場、「V」は播州工場、「T」は高砂工場、「M」は門司工場を示します。
- ②下側は、「製品名と厚み」を示します。製品名は、下記の通りです。
 「F」————→フレキシブル板(フレキシブルシート)
 「FSN」————→無石綿フレキシブル板(フレキシブルシートN)
 「NF」————→軟質フレキシブル板(ハイバーム)
 「BM」————→軟質フレキシブル板(バームライト)
 「S」————→平板(ノザワ平板)
 「N」————→軟質板(ノザワアスベニヤ)
 「K」「FK」————→ケイ酸カルシウム板(ケイカレックス)
 その隣の数字は厚みを示します。
- ③左隣は、「JISマーク」と「不燃マーク」です。「不燃マーク」は上より、建設省認定、協1001(石綿スレート協会が取得した不燃認定(通第1001号)、不燃(防耐火の種別)、AC協会(石綿スレート協会)と記載しています。
- ④左端の数字は、製造年月日を示します。左より、最初の2桁が西暦年の後ろ2桁、次の2桁が月、次の2桁が日、最後の1桁が直(製造班)を示します。上記の写真は、1977年2月21日の2直で製造した製品です。

石綿含有の有無については、1989年(平成元年)以降はaマークの有無により判断できます。それ以前は、全てのスレート製品が石綿含有品です。



融雪機能を付加した ミネラル肥料 「マインマグCb」を正式発売!

「マインマグシリーズ」は、ケイ酸と苦土(マグネシウム)を主成分とした作物の生育に必要なミネラルを含有する肥料で、平成22年3月より販売を開始しました。発売以来、米、麦、野菜、果樹、茶など農作物全般にご採用いただき、販売数量を伸ばしています。

一方、北海道をはじめ積雪地域では、雪どけを促進し農作業の開始を早めて作物の生育期間を確保することが必要で、春先に融雪剤の撒布が広く行われています。弊社は昨年、米・麦向けに施用実績が多い「マインマグC」に、太陽熱の吸収効率が高いカーボンブラックを配合した商品「マインマグCb」を開発、北海道内で試験販売を行い、このたび正式発売しました。

農作物を扱われているお知り合いの方がおられましたら、「マインマグC」「マインマグCb」をご紹介くださるようお願いいたします。



神戸あれこれ (編集後記に代えて)

◇第三十二話「台所の無い家」

台所の無い家、それは旧神戸居留地に建つ「十五番館(当社所有)」です。今はレストランとしてオープンしているため、一階に立派な厨房がありますが、建設当時は一階を事務所、二階を住居として使用しており、二階の間取りは居間、寝室、食堂、風呂、トイレで構成され、台所が有りませんでした。

この謎の答えはイラスト画のとおりですが、現存している「十五番館」は母屋で、付属屋を併設して渡り廊下で結ばれていました。つまり、付属屋に台所と使用人の部屋があり、使用人が調理した料理が渡り廊下から運ばれてきた訳です。

「十五番館」解体調査の際には、使用人を呼ぶための呼び鈴も発見されました。当時アメリカ大使館だった「十五番館」では、呼び鈴を鳴らせば「Yes, milady.(はい、お嬢様。)」などと使用人が現れたことでしょう。

今回は、「義経の逆落しは本当に有ったのか?」です。



(イラスト: 中井 繁)